

驚きの威力で
幅広い病害を併殺！



メジャー[®] フロアブル

は日本農業株の登録商標



*写真はイメージです



適用作物	キャベツ	はくさい	レタス	非結球レタス	たまねぎ	ねぎ	だいこん	かぶ	はなやさい類*
	ブロッコリー	にんにく	にら	アスパラガス	にんじん	やまのいも	あずき	いんげんまめ	(ブロッコリーを除く)

* 茎ブロッコリー、カリフラワーが含まれます。



NICHINO
日本農業株式会社



特長1

幅広い病害に効果があり、作物がきれいに仕上がる！
べと病、菌核病、灰色かび病、すそ枯病など多種の病害防除に高い効果を発揮するので、作物がきれいに仕上がります。

特長2

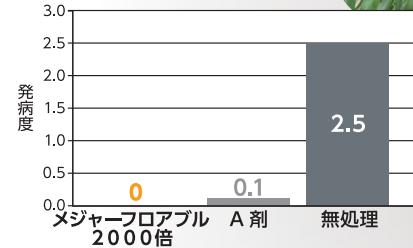
効果に安心！ 浸透性、浸透移行性が高く、耐雨性や効果持続性に優れるため、安定した防除効果を発揮します。

特長3

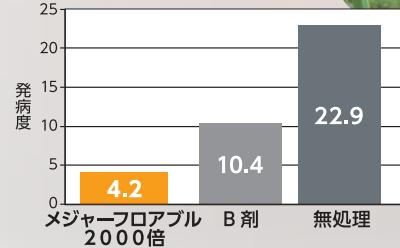
使いやすい！ 適用の病害に対して耐性菌の心配が少なく、収穫前日数も短いため使いやすい汎用殺菌剤です。

【試験成績】

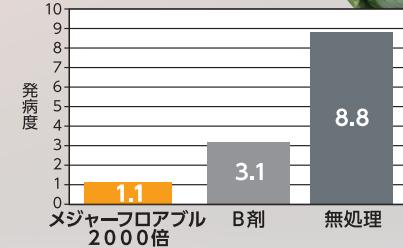
たまねぎ／べと病



ねぎ／さび病



レタス／べと病



試験場名：山口県農林総合技術センター 2012年
品種：早生7号 定植日：2011/11/7 処理日：3/14,22,30,4/9,18(計5回)
接種日：3/14(越年罹病株を配置) 調査日：4/27 発生状況：少発生(接種)
(公的機関等での実用性評価試験の為、登録の使用回数とは異なります。)

試験場名：日本農業(株) 鳥取県 現地圃場 2015年 [社内試験]
品種：龍光1号 定植日：7/13 処理日：11/12 調査日：11/26 発生状況：中発生

試験場名：長野県野菜花き試験場佐久支場 2012年
品種：サウザー 播種日：5/15 定植日：6/6
処理日：6/26, 7/3, 11(計3回) 調査日：7/19
発生状況：少発生

【適用病害虫および使用方法】

2024年3月適用拡大

〈2024年3月現在の登録内容〉

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピコキシストロビンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	株腐病、菌核病、べと病、ピシウム腐敗病						
はくさい	べと病、黒斑病、白斑病、白さび病						
レタス、非結球レタス	べと病、菌核病、灰色かび病、すそ枯病						
たまねぎ	べと病、灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病、黒かび病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで		散布	
ねぎ	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病、白絹病、黒腐菌核病、小菌核腐敗病、小菌核病	20倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで		無人航空機による散布	
だいこん	白さび病、ワッカ症	25倍	2.0ℓ/10a	収穫3日前まで		散布	
かぶ	白さび病	40倍	3.2ℓ/10a	収穫前日まで		無人航空機による散布	
はなやさい類*（プロッコリーを除く）	菌核病、べと病、黒すす病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで		散布	
プロッコリー	黒すす病	16倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
にんにく	さび病 白絹病、葉枯病	2000倍	100～300ℓ/10a	抽苔始め～収穫前日まで			
にら	白絹病、白斑葉枯病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで			
アスパラガス	茎枯病、斑点病			収穫3日前まで			
にんじん	黒葉枯病						
やまいも	葉渋病、炭疽病	2000倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで		無人航空機による散布	
あずき、いんげんまめ	灰色かび病、菌核病	2000倍	1.6ℓ/10a	収穫3日前まで		散布	
きく	白さび病、褐斑病	2000倍	2.0ℓ/10a	発病初期			
トルコギキョウ	斑点病	2000倍	3.2ℓ/10a				

正しく安全にお使いいただくために

浸透性を高める効果のある展着剤やシリコーン系等の湿潤性(濡れ性)を高める展着剤を加用すると葉害を生じるおそれがあるで、展着剤の加用に当たっては事前にその適否を確認してください。

キャベツ、はくさい、レタス、非結球レタス、ねぎに散布する場合、幼苗期では葉害を生じるおそれがあるので、使用をさせてください。

たまねぎに使用する場合、次の事項に注意してください。

①幼苗期に散布すると葉害を生じるおそれがあるので使用をさせてください。②生育初期に散布すると株の開帳や葉身部のわん曲の葉害を生じるおそれがあるので、使用をさせてください。③高温条件下で葉先の退緑を生じるおそれがあるので使用をさせてください。

ねぎに散布する場合、新葉展開期や高温条件下で株の開帳や葉身部のわん曲の葉害を生じるので、使用しないでください。

根深ねぎに散布する場合、生育初期に散布すると株の開帳や葉身部のわん曲の葉害を生じるおそれがあるので、使用をさせてください。

はくさいに散布する場合、高温条件下で結球前に散布すると葉害が生じるので、使用しないでください。

間に引き菜、つまり菜に使用しないでください。

にんにくに使用する場合、茎葉伸長期には株の開帳、短茎化症候等の葉害が発生するおそれがあるので、抽苔始め以降に使用してください。

にらに使用する場合、ハウス内の急激な温度、湿度変化による葉先枯れを助長するおそれがあるので、ハウスの温度、湿度管理に注意してください。

カリフラワーに散布する場合、高温条件下で花蕾形成期に散布すると葉焼けの葉害を生じるので使用しないでください。

アスパラガスに使用する場合、萌芽期に散布すると葉害を生じるおそれがあるので使用をさせてください。

アズキ、インゲンマメに散布する場合、着雷期以降は葉害を生じるおそれがあるので使用をさせてください。

トウモロコシに散布する場合、高温条件下で葉害を生じるおそれがあるので使用をさせてください。

トマトに散布する場合、花芽分化期に散布すると葉害を生じるおそれがあるので使用をさせてください。

トマトに散布する場合、花